



## 清く 強く 美しく 「女子レスリング界の女王」が、「コーティング界の女王」の施工を体験!

キーパーコーティングの魅力や、プロの技術をストレートに表現

12月中旬ごろ、YouTubeなどで配信します!

10月9日(月・祝)、愛知県大府市にあるキーパースタジオにて、キーパーの新Web CMの撮影が行われました。

今回のWeb CMには、女子レスリング選手の吉田沙保里さんと今年のキーパー技術コンテストで全国チャンピオンに輝いた安藤裕子さんの2人が登場。安藤さんがダイヤモンドキーパーを施工する姿を見て、吉田さんが感心し、そのツヤと輝きに感動するというシンプルなストーリー展開です。しかしながら、キーパーコーティングの魅力や技術者のプロの技術がストレートに伝わる内容となっています。

撮影は朝8時スタート。ヘアメイクを終えた安藤さんと吉田さんがスタジオに入ると、一気に華やかに。吉田さんの明るい雰囲気、スタッフの緊張感もほぐれ、リラックスして撮影がはじまりました。監督の演技指導のもと、順調に撮影が行われます。カメラやたくさんのスタッフの目が向けられる中、安藤さんの施工にブレはありません。どんどんキレイになっていく車に、吉田さんも本気で驚いていました。レスリングにおいても、コーティングにおいても、プロの技には本物が持つ美しさや感動があることを改めて実感しました。

途中、アドリブで実際に吉田さんにレジンコーティングをかけてもらうシーンも。「難しいですね。でもそんなに力はいらさないんですね」と女性にもキーパーコーティングが施工できることを知っていただけました。

吉田さんも安藤さんも、素晴らしい演技力で、スムーズに撮影が進み、1時間ほど早く終了。その後、車のツヤシーンを照明と格闘しながら撮影し、吉田さんによるナレーションを録音してすべての撮影が終了しました。

このWeb CMは、12月中旬ごろ、YouTubeなどで放映されます。ご期待ください!!



### 清く 強く 美しく



撮影スタッフだけでなく、キーパー技研スタッフも車の移動などでスタジオはバタバタ。段取り良く撮影が進みます。



安藤さんの娘さんも応援に来てくれました。



吉田さんの気さくに、安藤さんもすぐに打ち解け、リラックスモード。



吉田さんから安藤さんへ自由に質問したり、感想を言っていたりしながら撮影が進みます。



キーパーコーティングの本物のツヤを伝えるために奮闘してくれた撮影班。



まるで鏡のようなツヤです。

Web CMを一部ご紹介! ※ここから画像の色合いや台詞などを調整していきます。



安藤さん「吉田さん、やってみますか?」  
吉田さん「はい、やってみたくいですね!」

安藤さん「隙間なく、縦も…」  
吉田さん「面白いですね!もうはじいて! 早え〜!」

吉田さん「すごいキレイ!!」



吉田さん「すごい!身体全体使ってますね。これだけでキレイになりそう!さすがプロですね。」



安藤さん「これはガラスコーティングをして車を守っています。」



吉田さん「本当に守ってます? 私の方が守れると思いますけど。」



安藤さん「同じくらい守りますよ(笑)」



(キーパー施工なしと施工ありを見比べて…)



吉田さん「輝きの次元が違うわ。」



輝きの次元が違うわ。



清く 強く 美しく

吉田さん「清く 強く 美しく!」



KeepPer  
「キーパー!!」

「キーパー、最高!!」



Web CM監督  
中原 将太さんから  
メッセージ

吉田さんは、とても懐が深く、いつも笑顔。演技をやらせても一流だなと感じました。安藤さんもかわいらしく、上手にお話していただきましたし、何より、撮影という緊張感ある場所であれだけブレない施工をするのにはとても感心しました。お2人やスタッフ、キーパーの社員の皆さんのおかげでスムーズに撮影がすすみました。

キーパーコーティングを私も体験しましたが、車をキレイにピカピカにするだけでなく、新しいカーライフスタイルを創るものだと伝えていたと思います。そのためには奇をてらわず、日本中で愛されている吉田さんに実際に体験してもらって「すご〜キレイ!

全然違う!」と言ってもらうのが一番。変に飾り立てない誠実な方法が一番キーパーらしいかなと考えてこのようなストーリーを考えました。一番こだわったのは、車のツヤです。社長から「車の撮り方とコーティングの撮り方は違う!」ということを教えていただき、スタッフ一同試行錯誤し、リアルなツヤを撮影できたのではないかと思います。

このWeb CMで女性や若い方、新車を買ったばかりの方、コーティングを知らなかった人にもキーパーコーティングの良さがストレートに伝わり、広がっていけばいいと思います。